

輝け！シン尾花沢中

気高く晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海の

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

「選択制家庭学習」を通して「自立した学習者」育成を目指す

今年度、「学習」に係る目指す生徒像は次の通りです。

学習	校長が掲げる目指す生徒像	生徒が決めた目指す生徒像
	夢中になって学ぶ生徒	常に学ぼうとする姿勢を忘れない生徒

「自立した学習者」へ



「自立した学習者」とは、「これをやりなさい」と指示を受けなくとも、次のように主体的に学習できる生徒と捉えています。

- ➡【自己判断・自己決定】自分の夢や志の達成に向けて、学習内容や学習方法を自分で決める
- ➡【自己調整】自身の学習状況を的確に捉えて、改善しながら学習を進める

文部科学省は、このことを「主体的な学び」（＝学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる）と言っています。

シン尾花沢中では、各教科の授業や総合的な学習の時間、道徳科、特別活動など、さまざまな教育活動を通して「自立した学習者」の育成を目指します。

特に、今年度の重点として「授業と関連付けた家庭学習の充実」を掲げ「選択制家庭学習」を取り入れました。

選択制家庭学習とは、家庭学習を行うという前提のもと、学習内容と学習方法（先生への提出も含む）を自分で選択し、実行する学習です。具体的には、「どんな課題に、どのように取り組むか」について、生徒が保護者と相談して決定し、次のような効果をねらいます。

- A) 自分に必要な課題に取り組むが提出しない
- B) 自分に必要な課題に取り組んで提出する
- C) 練習プリントに取り組んで提出する

- 授業時間外での学習機会が増えることで学力の向上に！
- 自律的学習に取り組むことができる態度や習慣を形成！

A) や B) を選択した場合「自主学習ノートを活用した学習」が考えられます。

ここで、生徒の皆さんや保護者の方々から次のような質問がありました。

「自主学習ノートを使ってどんな学習をすればいいの？」

次回から、自主学習ノートを活用した家庭学習の内容について3点提案いたします。

【文責：校長 工藤雅史】

